

渡辺観光文化交流局長：国際展示場

特別会計条例

総務課長

2万人アンケート考察

第3者

説明資料

70%

算出の妥当性は不可能。別途調査することは可能

今回には出せなかった。

国際展示場について

西山：予算と条例

PFI方式に限定 理由とメリット

国際展示場主幹：施行が速やかに 事業の安定性

デメリット 特段ない

西山：設計・施工・運営・維持管理のどこまで

主幹：設計・工事・維持管理まで 運営は切り離すつもり

西山：審議会は何を決めるのか

主幹：専門的観点から事業者を決める

西山：誰が審議委員か

主幹：建築、経済から2名 展示場から1名

西山：何かあった時の責任は

主幹：実施方針を作る際に検討

江上：「PFIのデメリットがない」 建物 それぞれ監視してこそ長寿命化。

すべて同じ業者ではないか

主幹：維持管理はセットがメリット

江上：設計と工事管理と建設 別々にすればよい建物ができる。

金銭的に安ければよいと聞こえる

主幹：要求にマッチするものが出てくる

江上：設計・施工・工事管理・建設が分かれてやればよいものができる

デメリットは考えていないのか

主幹：モニタリングをしっかりしていくので

江上：答えていない。 これまで名古屋市がやってきた

主幹：要求水準の中で担保していく。PFIガイドラインがある。

江上：設計・施工・工事管理・建設が同じか

主幹：連携して実施される

江上：同一企業体でやられる。

金城埠頭 第一展示場

この地域にしなければいけない理由は？

主幹：金城埠頭4万平方メートル にぎわいを考える上で重要

江上：集約駐車場5000台 逆に限定せざるを得ないのではないか

主幹：そういう理由ではない

江上：稲枝、空見 第1展示場が絡んでいるのか？

主幹：空見も検討している。金城埠頭での4万平方メートルを考えている

名古屋城

塚本：10億円予算

竹中 59ページ 「困難」基本設計

2点 ・昨年5月26日 大井川鉄道 予算執行断念

附帯決議 車両の確保 2000万円設計可決したのに断念

10億円 基本設計 「困難性」できないような事態になったら凍結する附帯決議

「一切排除できました」できるものなのか

・2020年7月 間にあわさない場合 10億円の基本設計は無価値になるのか？

汎用性があるのか？

名古屋城事業調整主幹：「困難」克服できる課題もある。

中に書かれていることをどう克服するか協議していく。

2020年7月に間に合わない場合、基本設計自体は予算認められた場合、

内容は2020年7月に間に合うようやる

塚本：河村市長「レゴランドに間に合わせようSLを走らせよう」。

貸し出しができなかったために無駄には成らなかった。

克服しないといけない段階で、議会が可決できるのか？

克服できなかったらどうなるか？

昨日の本会議 市長はこだわっていないのか？「耳を傾ける」

この議会で可決すべきか？

総合事務所長：克服してやっていく。

この提案に基づいて目指してやっていくことが可能だと考えている。

塚本：困難を克服できなかった場合、10億円はどうなるのか？

所長：間に合わないことが明らかになった場合、継続するか協議する。

進めていくということになれば活かすことはできる。

そこで中止するとなった場合、活用することが難しいところがある。

塚本：2020年7月にこだわらない場合、竹中が継続するのか？

所長：2020年7月までに前提で行っている。「仮に」間に合わなかった場合、

中止することもある。

協議をする。

そのまま進めると申したわけではない。

田辺：2020年に間に合わないことが明らかになった場合、

宮村局長からは「リセット」と明確な答弁をいただいているが、動いたということか。

館主幹：間に合わないことが明らかになった場合、再出発すると答弁した。

「仮に」原因を分析して協議していく

田辺：資料を要求したい 議事録ができていないよう。

問いに対してどういう回答だったか。

なおかつ仕様書「中止もありうる」どういう文言か

協議するのはわかるが、宮村前局長「アンフェアにならないように」大前提
どういう意味なのか。

館主幹：用意する

田辺：基本設計 本会議でも聞いたが、竹中案 市長案 迷うところ。

4/22 資料 工程の見直しがかかっている。

交渉に入る。プランを作る。

基本設計と言うのは、竹中案なのか、市が修正したものか。

事業調整主幹：竹中から出されたものをベースにどう基本設計をするか確認中。

どうスケジュールをするか

田辺：可決してもらうために議案を出してきたはず。

基本設計 納期はいつまで。工期も決まってくる。

何を落とし込む設計か？

どういう設計をする気か

事業調整主幹：基本設計は文化庁に出すものをベースに。

調査及び設計を踏まえて中身を精査する

田辺：議案 あなた方は竹中に何をもらうのか？

いろんなバリエーション 8億の中身は？

主幹：基本設計がベース ほかの要素を検討しないといけない

大きな枠組みを作っていく 文化庁に出すための仮設計も。

田辺：竹中から出ている見積書の資料要求をする

主幹：内訳をだす

田辺：竹中から出ている見積書の資料要求をする。見積書は存在しないのか？

主幹：見積書はでているので、項目ごとにまとめればよいか

田辺：それではわからないので見積書をだしてほしい

主幹：出す

田辺：4/22 工程が変わっている。

今の状況が示されていない。

2/26 竹中案からどういう変更があったのか、説明できるか

主幹：4/22 工程 一部予算の絡みで変更した

田辺：工程見直しがされているが、それ以外に変更・修正があったのではないか

主幹：工程は基本的には変わってない

田辺：それはおかしい。協議、打ち合わせは何回やったのか

主幹：週1回程度

田辺：いつからはじめて何回。記録取っているはず。

そこに参加したのはだれか。北住秘書も出ていると聞いたが

主幹：間違いない

田辺：その資料を出してほしい。

竹中案か市の案かはっきりさせてほしい。

西野所長：この案に基づいて基本設計 名古屋市の案

江上：基本設計等 8億4800万

それ以外はなにか

主幹：基本設計

その他の設計 素屋根の設計、仮収蔵庫、調査業務

江上：いくら

主幹：基本設計 4億8000万

その他 1億3000万

調査 2億3000万

江上：2020年7月 10月に許可申請を出す資料すべてか

主幹：文化庁に出す資料

江上：基本設計のみ 3か月

本丸御殿の基本設計 10か月

なぜ3か月で可能になるのか

主幹：10月末まで。

文化庁の審議会が10月。

本丸御殿との違い。木造復元 大規模 高さが高い。

トータル6層 構造的要因・避難の要因

西野所長：質問は本丸御殿に比べて短いのか？

かなり前から竹中が取り組んでいる。

それをベースにやっている。

全体的に早くなる

江上：4月からと思うが、それでも6カ月。

もっと伸びないといけない理由を述べた。

西野所長：昭和実測図に基づいて明確に分かる。

江上：職員3人分の人件費 3ヶ月分ではないのか。

管理課長：7月から4ヶ月分を出している。

江上：本丸御殿の基本設計 6400万円余り

今が4億8000万。桁が違う。

昭和実測図。本丸御殿は昭和実測図はないのか？

主幹：あります

江上：桁が違うのになぜできるのか

主幹：中身について違いがある

江上：急いで無理しているから高いのではないか。

主幹：基本設計費が高くなる

江上：期間が限定されているから高くなったのではないか

主幹：短期間で精力的にやる

江上：住宅都市局に移管 見積もりを作る

金額が変わらないのか？

主幹：積み上げでやる場合 これだけ大規模は例がない。積み上げで算出できない。

江上：4か月の問題点。通常のやり方でも4億8000万かかるのか？

主幹：基本的には変わらない。

江上：本丸御殿に比べて厳しい要素がたくさんある。

もっと厳しい条件になってもおかしくない。高くないとできないのではないか。

所長：設計業務量がある。短期間でやる。

通常の工事に比べて単価が高くなっていることはない。

江上：昭和実測図の違い、通常の基本設計とどう違うのか。

主幹：工程表は出す

田辺：安藤ハザマ 3億1000万でやれる。

どうして交渉しないのか？1億の違いは何か？

主幹：基本設計の内容 一般的な基本設計と特殊的要因を含む設計がある

田辺：なんで違いがでるのか？ 竹中4億8000万の違いは？

何で持って1億7000万も違うのか？

「会社が違う」ではない。もうちょっとまげられないかが民間では当たり前。

主幹：基本的には技術提案 業務として検証と対応

内容を確認してだした

田辺：一括発注するとうなっちゃう さっきのPFI

設計は設計で入札する、工事は工事で、 最小限の税金で最大の効果

交渉していくのはあなた方から交渉していったいい

別のゼネコンを示して交渉したのか

主幹：木造復元 技術料・ノウハウが必要

額として技術的な要素 基本的なところ 竹中と交渉してできると

田辺：交渉のしどころ

市長「理にかなった数字」 価格交渉する気がない

稟議書 竹中に発注しないといけない義務がある。

なぜ高い方に注文しないといけないか

所長：優秀交渉権者は竹中。安藤ハザマとは交渉していないため、

そういう出し方は難しい

田辺：稟議書は通らない。私は製造業の営業をやっていた。

認められるわけがない。竹中に聞いてほしい。

所長：全体的なことを評価してやっている。個別の比較はやっていない。

竹中の基本設計が

田辺：あなた方は交渉をしていない。

根拠を持っていない。今説明できない。

技術提案交渉方式では金額は交渉してはいけないのか？

1円でも変わったのか

主幹：最初から下がってきている

田辺：いくら下がったのか、理由は何か

主幹：技術者のレベル

江上：基本設計・実施設計ではなかったか

主幹：4/22では基本設計・実施設計

江上：何が変化したのか

主幹：変化した部分を出す

委員長：項目ごとに

所長：大きなところでは変更はないが、分かりやすいように出す

藤沢：市長6月提案説明「不退転」

岩本委員「耳を傾ける」

大きな方針の変化に思える

一緒に加えてほしい

あの答弁をするには幹部会 皆さん方は何を変えて今日臨んだ？

何も変わっていないければ、答弁は何だったのか？

主幹：市長「慎重に考えなければならない」

今後どうしていくのか慎重に考えていく。

現段階では2020年7月で臨んでいく

藤沢：何も変わっていない？本会議の意味ないよね。

自民党市議団では「大きな意味を持つ」

局長：昨日、今日と市長にあった。

変わった指示はない。「耳を傾ける」1日も早く着手したい。

耐震対策。

重要な観光資源 入場制限日数は1日も少なくしたい

藤沢：市長にもどういう意味だったか確認してもらいたい

何も変わっていないのか？

本会議・委員会を見ながら 世の中には表に出せないこともあるだろう。

意味を把握しておかないと。どういう真意なのか。

判断が困る。

中川：2万人アンケートの考察 理解を示さなかった市民が70%を超えた。

これも含めて慎重に検討、耳を傾けるでよいか

主幹：市長は「40%が木造」に耳を傾ける

中川：何も変わらないのではないか。

今までの市長の理解

「耳を傾ける」の理解は変化をしたとみるのが常識的

これについては耳を傾けないということか？

そういう市長ではないと思うが？

局長：臨時幹部会で「耳を傾ける」

真意は確認して提出する

その中で市長からの指示があれば報告する

中川：議事進行とはどういうことか

鎌倉：関連で説明しようとしたかった

中川：意味がわかりかねる

鎌倉：進行上、市長を呼んではどうか

中川：続けてよいか

「70%が理解を示さなかった」議案を取り下げることになるのでは？

視野に入っているのか？

局長：市長と確認していない

中川：資料要求を見てから議論したい

鎌倉：市民から関心が高い

委員会としても本人を呼んでたしかめてはどうか。

石垣の耐震 上に立っているのが耐震基準満たしていない

石垣が倒れてしまう

人の命、入場者の危険

所長：市長の意思としてはそうだと聞いている

鎌倉：緊急避難的な処置という考え方はなかったか

所長：耐震改修をするのか、木造にするのか市民に説明した

鎌倉：I S 値が突然出てきた。大分前からあったはず。

震災があってから。各層で違っている。地下も。

資料要求 細かい数字があればほしい

主幹：各階の I S 値

丹羽：新聞「取り下げ」と書いてあった。

委員会ないのか？答弁が違う。

主幹：現段階では取り下げではない

丹羽：書かれたことについて対応しないのか。

部長：これまで努力をしてきた。

間に合わないと明らかにはなっていない。

苦しいところではあるが戸惑っている。

丹羽：火のないところに煙が立たない

資料を膨大において議論する委員会はない

江上：解体設計 文化庁の申請の対象か？

主幹：どう解体するかも文化庁の考え方

江上：来年6月から解体を求めるのか？

主幹：取り壊しを進める

江上：私は認めない

2万人アンケート お願い

当然の理解ではないか？

主幹：多かったのは「2020年にとられず」

その次が耐震化、その次が2020年。

耐震化を木造化か補修かといえば木造が多い。

これから予算が認められれば

江上：市民の声を聞くから2万人アンケートを行った。

質問の趣旨で聞いておきながら、勝手に解釈する。

「最下位でした」と認めるのが最低限の礼儀ではないか。

主幹：2月定例会で市長はよく考える

江上：通常市民に聞いた以上、真摯に対応するのが当然。

信頼できる市政にならない。

市民の声が3択+その他。

資料 その他でどんな声があったのか。

主幹：おもなものを書かせていただいて提出する

江上：I S値 2011年2月に報告されたはず。

2-2の表現はなかったと思うがいかがか。

主幹：2-2の表現 I S値に応じて成っている。

0.6を超えるものは1

0.3-0.6は2-1

0.3未満は2-2

江上：耐震診断書が2011年2月に出ている。0.14とある。

その耐震診断には2-2はなかったのではないか。

主幹：2-2という表現はなかった。

江上：市長答弁で0.14と言った。

それまで名古屋市の方針は耐震化だった。

特別史跡でも耐震化となっている。

2010年度 耐震化・木造化調査 やった結果が0.14

急に0.14と言いだした。

構造診断書を見た形跡がないが、

主幹：I S値の区分でやってる。

江上：住宅都市局独自の表現。

自分が問題提起しながらなんら目を通していない。

所長：名古屋市が2-2と整理していた。

江上：耐震化だけでなく長寿命化も必要

40年という数字 耐用年数としては長い。

中性化 4 地下1階-7階まで1つだけ4

鉄筋のさび いい方からいえば2

構造体劣化調査から出した。

残存耐用年数としてはまあまあではないか

主幹：中性化については応じて

評価としては40年

江上：次年度以降 コンクリート劣化どうしないといけないか

5年ほかっていた。

2011年3月11日 東日本大震災

2月28日に報告書 10日で地震

どういう対応をとるか 行政の対応は重要

どうしてほかっていたのか

田辺：今回の議案は木造復元のこと

それゆえに個人質問 あまり踏み込むと予算に入っていない

江上：基本設計には耐震のことが入っている。

21% 税金投入がないという前提なので下がってきていると思う。

石垣調査 予算に入っている5000万円

今まで石垣調査は何をやってきたのか。

整備室長：職員が目視によるはらみだし 経過観察

順番に修復工事

江上：54000平米全体

石垣の整備 どれだけやってきたか 残りはどれくらいか

整備室長：昭和45年以降

木下：河村市長の理由説明 違和感

2万人アンケート 市民の意見を大事にする

市長のやりたいことについては聞かない

確信犯のような表現

市長も揺れている

市民の意見を大事にしてほしい

議案を取り下げないといけないのを心配している

「しっかりしたものを時間をかけて」市民が多い。

河村市長「170万人もの人が来ている。早急に対応したい。

私の重大な責務。」

命を守ると言っても具体的な指示はやらない。

わかっててやらない。指示は出ているのか。

管理課長：安全を第一 検討するように指示を受けている

木下：大至急やらしてもらわないと即刻手を打たないと。

木造とは別の話。早くしてほしい。今週中に結論を出して。

田辺：「市長が耳を傾ける」2020年ではない木造化が脚光を浴びている。

市長が考える木造化 「木造による耐震」何なのか？

木造化とは耐震なのか、観光なのか、どういう位置づけか？

所長：耐震性が低い、耐震改修をする、一方で木造復元で耐震性 市長の考え

昭和実測図など資料が残っている

市民の精神的な支柱

田辺：観光資源はないのか

所長：市民が誇りとして話ができる施設＝観光資源

田辺：オリンピックでアピールというのは観光資源

ゼネコン関係者 お城は文化財 文化財は観光になる。

観光資源を作ろうとしたらおかしいものができる。

所長：良く感じる

文化財としてしっかりしたものでないと観光資源にならない

田辺：6/17 読売 清水建設案 このような資料は存在しているのか、どういう扱いか、

局長はいつ知ったのか

150億円圧縮 工期は8年強 事実か

所長：清水建設からの資料 2月26日が締め切り 清水建設から辞退届とともに補完資料

正式な提案ではない。公募条件を満たしていない。

一つの参考資料として受け取った。

その後は特に活用していない。局長にも報告していなかった。

内容については非公開でと確認している。申し上げることはできない。

田辺：宮村局長 今の局長、市長についてはどうか

所長：資料が昨年度提出された 市長に報告した。

渡辺局長には報告していない。

3月15日委員会 辞退理由を明らかにしてほしい

参考資料の説明がなかったのはなぜか

所長：受け取ってから参考資料の中身は確認していなかった

非公開資料と言われていたため。

あらためて清水建設に確認して、外に出せるのはこれ。

田辺：辞退届を受け取ったのはだれ

所長：名古屋城の職員

田辺：その後誰が持っていたのか

所長：室長に報告して職員が持っていた。異動になったので私が持っていた。

田辺：非公開の扱い 資料があったことを報告しなかったのはなぜか

所長：非公開と言われていた。内容を確認していなかった

あらためて確認した

田辺：非公開と秘密は別。

3月15日に聞かれて、その間に確認できたのではないか。

「資料を隠していたのか」我々に対して？

所長：隠していたわけではない。非公開と言われていたのでそのような取り扱い。

田辺：辞退届は公式な文書か。

所長：お願いしていただいた資料。

田辺：補完資料は微妙だが、辞退届に補完資料があると書かれていないのか？

所長：答えた以上は非公開

田辺：隠していたのではないか。

全部で何冊あるのか。

所長：2部

田辺：それぞれどこに保管されていたのか

所長：私と委託先が持っている

田辺：安井設計とは契約どの程度残っているのか

所長：6月末まで

田辺：なんでそこが持っていたのか？非公開なのではないか。正式ではない。

なぜ名古屋市外に回していたのか

所長：清水建設にヒアリング 安井設計も出席

その場で預かった。認識をしていなかった

田辺：適切な対応か？企業としてノウハウ

第3者に渡った。竹中工務店と進めているところ。

まるっと預けたのは適切か？

清水建設は了としているのか？

所長：非公開 安井設計との間で秘密保持。

清水建設も資料が渡ったのは了解している r

17日金曜日

前提として非公開が変わっているといけない

田辺：非公開 機密を守る

口封じ

お呼びして話をする中 明らかにするのならよい

断じて自由な議論を妨げられた。

清水建設を知りたい。

キッチンと石垣を作ってやる

基本的な城造りのやり方。

石垣を先か、城を先か 大きな違い

素直に考えれば石垣を先。

石垣に荷重をかけて締める。

2020年ではない場合が出てきた。清水建設が提案。

当局も理解しているのか。

主幹：石垣 昭和20年で焼かれた。大切な遺構

田辺：一般的な城郭の常識

石垣を組んだうえで城郭を載せると強くなるという認識があるか

所長：石垣を抑えて強くなるのは最近聞いた。

募集をするにあたり、戦争で焼かれている。

荷重をかけるのは難しいという認識で提案募集。

今の優秀権者はそう。

田辺：2020年にこだわらない案 清水建設案が出てきたため議論ができるようになった。

市民アンケート 「こういう案もあるんだ」見え始めてきた。

隠し続けたあなた方の誠実さも疑う。

辞退届 通常出さない。なんで出させた。

所長：事前に登録をしていただいた

だされないのであれば辞退

田辺：名古屋市の入札で辞退届出させたことがあるのか？

主幹：理由を書かせたのではないと理解

田辺：イレギュラーなこと。全部手を下げた場合、議会に説明しないといけない

添付資料 一瞥もせず置いておいた。 局長 あまりにも失礼ではないか。

見ていなかったから説明できなかっただけ。

扱いが人としてどうか。

局長：プロポーザルのルール 秘密情報は適正だと思う。

研究用としては必要。

丹羽：清水建設 市民アンケートの最たるもの。

2020年 清水案 一つの案が書いてあればこれに集中していたのではないか

所長：非公開情報

学識者の意見も聞いていない、詳細に検討していない

丹羽：精査していたら市長に進言できたのではないか

幻の清水案を聞いてみたい。

予算を認めると505億で進んじゃう。

105億あれば本丸御殿ができちゃう。

車の通行1週間止められないから3時間で出来ちゃうが高額。

建築管理技士として現場に立った者の意見。

塚本：フローチャート

10月文化庁の審議会を通らなかった場合

10月復元検討委員会を通らなかった場合

主幹：用意する

田辺：清水建設 参考人招致をご検討してほしいという動議

丹羽：賛成

田辺：2/26 2社提案1社辞退

名古屋市職員が3業者に個別に接触はしたのか

所長：把握している限りはない

田辺：説明会 市の職員が業者を訪問したのではないでよいか

所長：ご指摘の通り

田辺：もしそうするとどうなるか？適切か適切でないか

所長：いろんなケースがあろうかと思うが、ないのが普通

田辺：3業者に「名古屋市の関係者が訪問しなかったか」聞いてほしい

訪問している事実があるかもしれない

確認をとれるのならしてほしい

所長：問い合わせをして答弁したい

斎藤：安井建築設計 どのような活動をされていたのか

何月何をして 選定の場にいたと理解している

主幹：前年度 業務委託 学識経験者意見を聞く

斎藤：スケジュール

3000万 どういう活動

不調で最後随意契約？

総務課長：入札3回でも不調 随意契約で契約

斎藤：活動内容がわかるもの

総務課長：昨年度のものについて出させていただく

主幹：資料 見積もりを出させてほしい

御見積り 出せる範囲で出すのでよいか

田辺：全体は出してほしい どの業者を下請けとは言わないが、

竹中としていくらか

主幹：見積書の内容が分かるものでよいか

田辺：委員長に任せる

できるだけ本物、忠実なものを

主幹：調整する

総括質疑 6/23

本日の

10:30 総括質疑